神中しーぶん

平成27年
3月19日

神原中
不定期55号

涙涙の卒業式!!

テーマ：Believe in myself ～自分を信じて～

去る三月十三日(金)体育館において、厳かな雰囲気の中、平成二十六年度の第五十四回卒業式が行われました。

式典の前に、心地よい音楽に乗せて、在校生代表数名によるテーマ詩の朗読があり、式を盛り上げるのに効果的でした。

式典の中での、校歌斉唱について、母校への誇りと思いを込めて、今回初めて四番まで歌いきりました。

教頭による学事報告では、学校行事等を通しての生徒達の頑張りの様子を報告しました。

その後、名嘉校長先生による「卒業認定」、「卒業証書授与」が行なわれ、多くの生徒達が涙を流しながら、証書を受け取る場面が見られました。

校長先生による「式辞」、「教育長祝辞」、「PTA会長祝辞」、さらに多くの祝電にて卒業生へのお祝い等を述べていました。

「卒業生を送る言葉」「卒業生を送る歌」も素晴らしく、一・二年生の気持ちが感じられ、感激しました。比嘉堅登さんによる「別れの言葉」では、最初は冷静に話していたが、仲間(卒業生)のことを話す場面では、感極まった表情で涙する場面があり、場内にいる卒業生・在校生・保護者・先生方等の涙を誘っていました。

式全体を通して、厳粛な雰囲気の中で、感動ある式典でした。在校生の態度も素晴らしかったと感じました。

式典後は、卒業生の一年生の頃からの写真を音楽に乗せて「思い出のアルバム」として上映しました。どの生徒の顔にも生き生きとした表情が見られ、学校生活の楽しさを満喫している様子でした。

卒業式終了後は、ほとんどの生徒が第二部の卒業パーティで、場所を変えて楽しいひとときを過ごしています。

他校においては、一部の大型店舗の前で、他の迷惑になるような行動があったとの事です。神原中学校においては、そのような迷惑行為の情報が全くなかったことも全職員で喜んでいます。卒業式は、三年間の学校での指導の結果の集大成であり、卒業生との関係がうまく作れていた結果だと感じています。

一・二年生の皆さん、これからは先輩として、学校の活性化のために、自分自身に何ができるのかを考えて欲しいです。これからの神原中の歴史は、皆さんが作るのです。

野菜収穫だ!!

技術の時間に栽培したダイコン、にんじんの収穫がありました。ケースいっぱいに入っているにんじんは、思わずかぶりつきたくなるぐらいに「かわいい」一口サイズの大きさでした。

ダイコンの方は、なかなかの大きさで、長さは短いものの十分に育っていました。

これで、今年度の収穫は最後になりましたが、次年度はこの経験を活かし、さらに実のある栽培ができる事でしょう。

那覇市長の祝電!!

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今日、３年間学んだ中学校の学舎を後にして、次のステージへ新しい一歩を踏み出す君たちは、無限に広がる可能性を信じ、夢と希望に向かって、常に挑戦していくことでしょう。

皆さんが歩む道には、ともに歩み、支えとなってくれる人がいます。皆さんが歩む道の先には、常に新しい出会いの喜びがあります。皆さんが歩んだ道には、自信と誇りが刻まれています。

そして、皆さんが未来の道を歩む時に、大切で必要なものは、自分自身を大切にする心、人の気持ちを思いやる心、この心の在り方です。

優しく、温もりのある心を持った人間こそが一番強い人間です。皆さんがそういう心を持った大人に成長してくれることを、皆さんを見守る私たちは強く願い、大きな期待を寄せています。ご卒業おめでとうございます。心から祝福します。(市長)城間幹子

教育長祝辞(代読)！

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を手にし、心も体もともにたくましく成長した皆さんは光り輝き、その姿は、来賓をはじめ保護者の皆様、先生方、そして在校生に大きな感動を与えたことと思います。

この三年間の学習活動や部活動、様々な行事への取り組みを通して得た、ものの見方や考え方、判断力や表現力、そして人との関わりの大切さなどは、これからの人生を歩んでいく上で、皆さんの大きな力となっていくことでしょう。

本日、中学校を卒業し、四月からは新しい生活が始まります。進む道はそれぞれ違うと思いますが、皆さん一人一人が、未来の担い手として、逞しく、大きく成長することを心より願っております。

結びに、これまで子どもたちを見守り、励まし、深い愛情で育んでこられた保護者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、常に親身になってご指導をいただきました学校長をはじめ先生方、子どもたちを温かい目で見守り続けた地域の皆様方に感謝申し上げまして、お祝いのことばといたします。(渡慶次克彦)